2021年度

単 位 互 換 ・ 京 カ レ ッ ジ

みやこ

事務担当者ガイド





目　次

はじめに／年間スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

Ⅰ　単位互換に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

１．単位互換について

　２．包括協定等の締結について

３．学内規程の整備について

４．単位互換科目について

５．単位互換にかかる経費について

６．出願・履修手続きについて

７．試験・レポートについて

８．成績評価について

９．補助金制度について

10．単位互換授業アンケートの実施について

Ⅱ　京カレッジに関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

１．京カレッジについて

２．京カレッジの科目について

３．京カレッジにかかる経費について

４．出願・履修手続きについて

５．試験・レポートについて

６．成績評価について

７．補助金制度について

８．受講アンケートの実施について

Ⅲ　単位互換・京カレッジに共通する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・17

１．シラバスの入力について

２．連絡方法について

３．授業の運営について

４．個人情報の取り扱いについて

５．その他の留意事項

Ⅳ　キャンパスプラザ京都で実施する科目について・・・・・・・・・・・・・19

１．学年暦について

２．講義時間について

３．教室調整について

４．出講案内について

５．授業の運営について

６．定期試験について

７．レポート試験について

８．キャンパスプラザ京都で実施する授業・試験・講座の休止・補講の取り扱いについて

９．キャンパスプラザ京都での教科書販売について

**はじめに**

本ガイドは、「単位互換」及び「京カレッジ」の事務運営を円滑に処理するために必要な共通する実務内容や取り扱い内容を定めたものです。本ガイドに記載のない事項については、公益財団法人大学コンソーシアム京都（以下「財団」という）と単位互換に参加する大学・短期大学と適宜協議の上、調整を行います。

**年間スケジュール**

単位互換・京カレッジの主な年間スケジュールは、以下のとおりです。なお、都合により日程が前後する場合もありますが、その際はメーリングリストを通じてお知らせします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 単位互換 | 京カレッジ |
| 3月 | ・シラバス公開 | ・募集ガイド発行・配布・前期出願受付（郵送・持参・Ｗｅｂ） |
| 4月 | ・前期出願受付（3月下旬～4月中旬）・前期出願確定作業（学生所属大学）・出願者選考（科目開設大学）・ｅ京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学）・前期講義開始・単位互換履修生証発行（必要な科目開設大学のみ） | ・前期出願票等送付（財団→科目開設大学）・出願者選考（科目開設大学）・ｅ京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学）・前期講義開始・選考結果通知（科目開設大学→出願者）・履修手続完了報告（科目開設大学→財団）　（～5月中旬） |
| 5月 |  |  |
| 6月 |  | ・京カレッジ会員証発行（財団→出願者） |
| 7月 | ・第1回事務担当者会議・プラザ推奨科目/京都世界遺産PBL科目/京都ミュージアムPBL科目募集開始（～9月）・前期試験期間・後期募集科目提供依頼（財団→科目開設大学） | ・第1回事務担当者会議・京カレッジ市民教養講座募集開始（～10月）・前期試験期間・後期募集科目提供依頼（財団→科目開設大学）・後期募集科目発表（財団） |
| 8月 | ・夏期集中講義開始・学生所属大学に成績通知（科目開設大学→学生所属大学） | ・夏期集中講義開始・後期出願受付（郵送・持参） |
| 9月 | ・後期出願受付(9月上旬～9月下旬)・後期出願確定作業（学生所属大学）・ｅ京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学）・後期講義開始・単位互換履修生証発行（必要な科目開設大学のみ） | ・後期出願票等送付（財団→科目開設大学）・出願者選考（科目開設大学）・ｅ京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学）・選考結果通知（科目開設大学→出願者）・後期講義開始 |
| 10月 | ・プラザ推奨科目/京都世界遺産PBL科目/京都ミュージアムPBL科目採択審査 | ・履修手続完了報告（科目開設大学→財団）　（～10月中旬）・京カレッジ会員証発行（財団→出願者） |
| 11月 | ・第2回事務担当者会議・プラザ推奨科目（新規）、京都世界遺産PBL科目、京都ミュージアムPBL科目発表 | ・第2回事務担当者会議・京カレッジ市民教養講座採択発表 |
| 12月 | ・単位互換科目シラバス入力開始（～1月）・科目運営補助金確認、支給 | ・京カレッジ科目シラバス入力開始（～1月） |
| 1月 | ・後期試験期間・シラバス入力締切 | ・後期試験期間・シラバス入力締切 |
| 2月 | ・シラバス校正・学生所属大学に成績通知（科目開設大学→学生所属大学） | ・シラバス校正・募集ガイド校正 |

**Ⅰ　単位互換に関する事項**

１．単位互換について

　　大学設置基準第28条、短期大学設置基準第14条に基づき、教育上有益と認めるときは、当該大学における授業科目の履修とみなし、大学の定めるところにより単位を与えることができる制度です。財団では、前身の「京都・大学センター」が発足した1994年から本制度を運用しています。

　２．包括協定等の締結について

財団の単位互換に新規で参加する場合、または脱退があった場合には、次の協定書等を単位互換に参加する加盟校間で締結する必要があります。

①「単位互換に関する包括協定書」

②「単位互換に関する包括協定書についての覚書」

③「科目等履修生受入れについての申し合わせ」

（包括協定書等の原本は財団にて保管し、副書を各協定参加大学へ配付します）。

なお、条文、附則、加盟校の名称等に変更がない場合は、直近に作成した協定書・覚書・申し合わせを有効とします。

３．学内規程の整備について

包括協定を締結し、単位互換に参加する大学・短期大学（以下「加盟校」という。）は、包括協定に即して学則上の規程整備（履修可能な単位互換科目数・単位数、卒業に必要な単位認定の可否、単位の認定方法等）を行う必要があります。

なお、参加初年度の大学においては、本事業に関わる学則及びその他関連する学内運用規程のコピー（１部）を財団までご提出ください。

　○履修可能な単位数・科目数の設定

　各大学（学部）において、登録・履修できる科目数・単位数を定めてください。

　　（大学設置基準第28条、短期大学設置基準第14条で定める上限の範囲内）

　○卒業要件単位の認定

各大学（学部）において、単位互換事業で修得した単位を卒業に必要な単位に認定するかを定めてください。

４．単位互換科目について

（１）単位互換科目の呼称

単位互換科目においては、次のような呼称があります。

|  |  |
| --- | --- |
| 呼称 | 内容 |
| プラザ・オンライン科目 | 下記いずれかに該当する科目。所定の補助金の対象です。・主にキャンパスプラザ京都における対面形式のみで運営する科目・キャンパスプラザ京都における対面形式と特定の会場を使用しないオンライン形式を組み合わせて運営する科目・特定の会場を使用しないオンライン形式のみで運営する科目 |
| プラザ推奨科目 | 財団が特に特色があると認め、所定の補助金対象となる科目（開設には審査があります。詳細は「プラザ推奨科目に関するガイドライン」をご参照ください。） |
| オンキャンパス科目 | 科目を開設する各大学・短期大学で実施する科目 |

（２）単位互換科目提供の基本方針

単位互換の科目提供の基本方針は、次のとおり定めています。

＜単位互換科目の提供方針＞

①科目を提供する大学・短期大学（部）の学則に定める科目であること。

②科目開設大学において特色があると判断する科目であること。

　　　③オンライン形式の採用にあたっては、オンラインの持つ特徴を活かした展開を計画しシラバスに記載できること。

　　　④科目担当教員は、原則、科目開設大学の専任教員であること。ただし、名誉教授や客員教授、招聘教授、その他その分野において業績が認められる者についてはこの限りではない。

　⑤チェーンレクチャー科目の場合は科目開設大学の専任教員がコーディネーターを務めること。

⑥連続して3年の間、単位互換履修生の出願が0名だった場合は科目の提供を見直すこと。

⑦同一大学において、提供する科目名や講義概要（シラバス）が同じものについては1科目に選択して提供すること。

⑧上記以外で、提供科目に関して何らかの課題が生じた場合は財団と科目開設大学・短期大学（部）が協議する。

（３）単位互換科目のテーマ区分

単位互換科目のテーマ区分は次のとおりです。シラバスの入力の際には、科目の内容に応じて、該当するテーマ区分を選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| テーマ区部 | 内　容 |
| A　京（みやこ）を学ぶ | 京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群 |
| B　歴史を学ぶ | 日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史感を養う科目群 |
| C　文化・芸術を学ぶ | 文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群 |
| D　ことば・言語を学ぶ | 語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現を身に付ける学ぶ科目群 |
| E　教育・人生観を学ぶ | 心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群 |
| F　生活・健康・スポーツを学ぶ | 暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群 |
| G　自然・環境を学ぶ | 環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群 |
| H　現代社会を学ぶ | 法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群 |
| I　国際関係を学ぶ | 法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群 |

　　　※上記のテーマ区分は、京カレッジの「大学講義」の区分と同様のものです。

（４）その他の留意事項

　　提供科目は、前期・後期科目とも、年度開始前のシラバス入力をもって確定となります。

５．単位互換にかかる経費について

（１）授業料等

「覚書：８）授業料等の扱い」に基づき、単位互換履修生の選考料及び授業料等は、講義科目については無料とし、演習・実習科目については、科目開設大学が定める額を学生が直接納金することとします。

（２）講師料（謝金）・交通費

科目開設大学でご負担ください。

（３）会場費

「オンキャンパス科目」については科目開設大学でご負担ください。

「プラザ・オンライン科目」については、キャンパスプラザ京都使用料（教室、備品等）を財団で負担いたします。ただし、次の場合は科目開設大学に費用をご負担いただきます。

①授業時間帯以外での準備や後片付け、あるいは控室等を目的とした使用

②キャンパスプラザ京都以外で実習等を行う場合の施設利用

③その他、授業に関する使用であると財団において判断できない場合

（４）広報

単位互換履修生の募集に関するポスター、パンフレット、ホームページ等の広報物は財団が費用を負担の上、作成します。広報物の配布やポスターの掲示等ご協力をお願いします。

６．出願・履修手続きについて

（１）出願資格

単位互換に関する包括協定書を締結している大学・短期大学の所属学生が対象となります。

なお、上述の財団加盟校に所属する国内交換学生・外国人留学生は、所属する大学が履修を許可した場合、単位互換制度を利用することができます。科目開設大学は、正規学生の出願者と同様に手続きをしてください。

（２）出願受付

単位互換の出願受付は、学生が所属する大学の担当窓口で行います。受付期間はスケジュールで示す期間内に各大学で設定してください。出願受付の期間は、前期（3月下旬～4月中旬）と後期（9月）の2回を設けます。

（３）出願票の提出

単位互換への出願は、単位互換・京カレッジの共通教務システム「e京都ラーニング」の出願票作成機能を利用した出願票にて行います。

なお、立命館大学、龍谷大学、早稲田大学は独自の出願システムを採用しているため、出願者が確定次第、そのデータをエクセルファイルにて財団へ提出してください。

（４）出願・履修に関する注意点

出願方法や履修手続き（制限単位や単位認定方針等）については、各大学において履修要項や履修説明会等で学生に周知してください。シラバスはe京都ラーニング上で閲覧することができます。また、特に次のことについては学生へ注意を促してください。

①卒業要件に対する配慮

科目開設大学での選考の結果、履修が許可されない場合があります。単位互換科目の履修可否の結果が卒業要件に直接影響しないよう、履修計画をご指導ください。

②履修取りやめの指導

例年、出願後に履修辞退を申し出る学生や、一度も講義に出席しない受講放棄の学生が報告されています。履修不可となった学生がいることや、受け入れ側の大学にも選考に負担がかかっていることを踏まえ、原則、履修許可後の単位互換科目の受講辞退は認めません。学内で実施される履修ガイダンス等において、出願は慎重に行い、履修許可された科目は必ず受講するようご指導ください。

　　　③学生による出願票提出後の履修登録の変更について

　　　　学生は、大学窓口への出願票提出後も、出願確定処理されるまではe京都ラーニングにおいて履修登録を変更できる仕様となっています。もしe京都ラーニングで履修登録変更を行った場合、提出済みの出願票内容は無効となります（出願No、出願内容ともにe京都ラーニング内の情報が更新されるためです。）原則として、出願票提出後に履修登録の変更は行わないこと、もし期日内でやむなく変更する場合は再度出願票を提出するよう、学生へご指導ください。

（５）出願処理スケジュール

単位互換の出願処理スケジュールは次のとおりです。各大学共通の作業日程となりますので、処理の期限日時は厳守願います。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日程 | 作　業　概　要 | 期限日時（厳守） |
| 　前 期 （ ４ 月 ） 出 願 登 録 処 理 | 　 | ｅ京都ラーニング上でシラバス公開 | 　3月上旬 |
| 　 | 出願受付（各大学は3/18～4/9正午までの間で受付期間を設定） |  |
| **①** | 学生所属大学により出願確定処理を行う*※Ｅ票の提出：立命館大学、龍谷大学、早稲田大学は**出願処理データを財団へ届けてください。* | 4/9（金）17：00Ｅ票:4/9（金）15：00 |
| **②**  | 各大学ならびに財団の出願確定処理後から科目開設大学にデータが随時表示される。※データはe京都ラーニング上に表示されます | 4/10（土）～  |
| 　 | 科目開設大学において出願者の選考 | 　 |
| **③** | 科目開設大学は履修可否ならびに成績番号を入力（選考結果発表）※データはe京都ラーニングに入力してください | 4/15（木） 17:00まで |
|  | 履修可否結果は自動的にメールで学生に通知 | 4/16（金）5：00以降 |
| 後 期 （ ９ 月 ） 出 願 登 録 処 理 | 　 | 出願受付（各大学は9/3～9/17正午までの間で受付期間を設定） |  |
| **①** | 学生所属大学により出願確定処理を行う*※Ｅ票の提出：立命館大学、龍谷大学、早稲田大学は**出願処理データを財団へ届けてください。* | 9/17（金） 17：00Ｅ票：9/17（金）15：00 |
| **②** | 各大学ならびに財団の出願確定処理後から科目開設大学にデータが随時表示される。※データはe京都ラーニング上に表示されます | 9/18（土） ～ |
|  | 科目開設大学において出願者の選考 | 　 |
| **③** | 科目開設大学は履修可否ならびに成績番号を入力（選考結果発表）※データはe京都ラーニングに入力してください | 9/23（木）17:00まで |
| 　 | 履修可否結果は自動的にメールで学生に通知 | 9/24（金） 5：00以降 |

（６）受け入れに関する注意事項

①仮受講について

初回授業日と学生への履修許可の通知までには、タイムラグが生じます。そのため、4月上旬から開講される科目につきましては、第1回の講義からの仮受講ができるようご配慮ください。

　　　　その際、シラバスに詳細な教室情報等の記載がない場合はe京都ラーニングの「お知らせ機能」等による掲示にて周知してください。（学生所属大学の出願確定処理後から学生への個別のメールは送信されます）

②統計上（成績処理対象としての）出願者数・履修許可者数について

単位互換事業を円滑に運営するため、原則として所属大学が出願を許可した時点で出願手続を完了したものとみなし、以後 各登録期間において出願確定処理を行った統計を「出願者数」とします。

また、科目開設大学が履修を許可した時点をもって履修許可者が確定したものとみなし、以後の統計では各登録期間において履修可否処理にて履修を認められた学生数を「履修許可者数」とします。

　　　　以上の理由から、履修許可されたにもかかわらず最終的に科目開設大学における手続きを行わなかった出願者についても、e京都ラーニング内では履修許可状態のまま変更しないでください。必要に応じて、学内の運用において「辞退」・「未手続」などとして取り扱ってください。

　　　　なお、出願・履修状況の統計は、事務担当者会議等にて報告します。

③単位互換履修生証発行について

単位互換履修生は、学生が所属する大学の学生証を利用することを原則としますが、必要に応じて、大学コンソーシアム京都の「単位互換履修生証」を発行することができます。

発行にあたっては、財団Webページにある「加盟校教職員用ファイル管理ページ(※)」に単位互換履修生証作成ツールをアップしていますのでご活用ください。また、単位互換履修生証の台紙が必要な場合は財団までご連絡ください。

※同管理ページの詳細は本ガイド「Ⅲ　単位互換・京カレッジに共通する事項」内に記載しています。

④履修許可後における手続きについて

履修許可後に学生が科目開設大学で行う個々の履修手続きは、学生の負担軽減、手続きの簡素化のため、身分証発行に用いる写真など必要最小限のものにしてください。

なお、各大学における履修手続きの方法等を学生に周知するため、財団で集約した上で、e京都ラーニングに掲載します。必要に応じて、科目開設大学からもe京都ラーニングの「お知らせ機能」を利用して受講生に周知してください。

⑤単位互換履修科目と学生所属大学履修科目における定期試験の重複について

単位互換履修科目と学生所属大学履修科目における定期試験が重複した場合、原則として、単位互換科目の試験を優先し、学生所属大学での試験に関しては学内規程に基づく追試験、再試験等の措置を講じてください。

なお、前述の理由以外による単位互換履修生からの追試験、再試験等への問い合せについては、科目開設大学が学内規程に基づいてご対応ください。

また、科目開設大学が単位互換履修生に追試験または再試験を実施する場合は、学生所属大学へその旨ご報告ください。

⑥受講・受験証明書の発行について

　　　　単位互換科目受講(試験の受験)の証明書を求められた場合は、科目開設大学は「単位互換科目（京カレッジ科目）受講・受験証明書」を発行してください。証明書の様式は27ページをご参照ください。

　　　　なお、キャンパスプラザ京都で実施する科目については、財団でも発行する場合があります。

⑦保険の加入

単位互換履修生のキャンパス内の事故等に備え、保険（例：「学生教育研究災害傷害保険」）に加入されることをおすすめします。

なお、海外実習を含め、実習を伴う科目については、履修生への保険加入を義務づけるようお願いします。

７．試験・レポートについて

（１）試験・レポート情報の集約と告知について

定期試験及びレポート試験の実施の有無や、実施日程、レポート論題等の情報については、前期科目、夏期集中科目は6月中旬頃、後期科目は11月下旬頃に財団から科目開設大学に集約を依頼します。ここで集約した情報は、プラザ科目の学年暦における試験期間2週間前から、キャンパスプラザ京都１階の掲示板及び財団ホームページまたはe京都ラーニングに掲載します。

なお、単位互換履修生に対して試験に関する実施要項等のお知らせがあれば、財団のホームページまたはe京都ラーニングに掲載しますので、データ等でご提供ください。

（２）キャンパスプラザ京都で実施する科目の試験・レポートについて

キャンパスプラザ京都で実施する科目の試験・レポートの実施については「Ⅳ　キャンパスプラザ京都で実施する科目について」の章（P19～）でご確認ください。

（３）オンキャンパス科目の試験・レポートについて

「オンキャンパス科目」の試験及びレポート試験実施における各種注意事項、手続きなどについては、科目開設大学の規程を適用もしくは準用してください。

８．成績評価について

（１）成績評価・単位認定

①成績評価・単位認定方法

科目開設大学は、単位互換履修生の成績評価を行い、単位認定は学生の所属大学が行います。科目開設大学は、100点満点の素点で成績評価を行い、学長名で「成績報告書」（または「単位修得報告書」）等を学生所属大学へ提出してください（各大学のご判断でCD-ROM等の電子媒体での提供を追加することも可能ですが、個人情報保護の観点から、メール等によるデータ送信はおやめください）。

②成績評価基準

評価の方法については、シラバスにテスト、レポート、出席等をパーセントで表すなど成績評価基準を明示いただき、それに応じて成績評価をしてください。

③成績通知の対象者

成績通知の対象者は、単位互換制度を利用し、科目開設大学が「履修許可者」として認めた単位互換履修生です。履修許可後の辞退者、科目開設大学での別途履修手続未了者、受講放棄者等についても成績通知の対象となります。

（２）学生への成績通知

学生所属大学は、科目開設大学から報告された成績を、自大学の成績評価として読み替え、所属大学の成績発表時に学生へ通知してください。

なお、成績に関する質問・疑義が生じた場合は、学生の所属大学と科目開設大学とで協議を行ってください。

（３）卒業判定への配慮

単位互換科目については、学生所属大学における学則等、学内規程に定められた制限単位数を上限として、卒業要件単位として認定・算入することとなります。学生所属大学の卒業判定を勘案し、以下の期間内に成績通知を行ってください。

|  |
| --- |
| 前期科目の成績は【**2021年8月23日（月）】まで**に、通年・集中・後期科目の成績は**【2022年2月7日（月）】まで**に学生の所属大学へ通知してください。※上記日程で都合が悪い場合は科目開設大学・所属大学間で調整をお願いします。 |

９．補助金制度について

「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」には所定の補助金が支給されます。

詳細については、『「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド』をご参照ください。

１０．単位互換授業アンケートの実施について

単位互換科目受講者に対し、単位互換事業の今後のあり方ならびに次年度以降の講義改善を目的としたWEBアンケートを実施しています(※紙による実施は廃止しました)。学生への周知について財団からご依頼することがありますので、ご協力をお願いいたします。

なお、アンケートの集計結果等については別途ご報告します。

**Ⅱ　京カレッジに関する事項**

１．京カレッジについて

　　京都市と財団では、高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応えるため、単位互換科目として提供される大学講義を提供していた「シティカレッジ」（1997年度開設）を改組し、2007年度より大学講義以外の公開講座も提供する生涯学習事業「京 （みやこ）カレッジ」を実施しています。

出願者は60代を中心としたシニア層が多い傾向にあり、この世代の興味関心ある科目や講座を提供いただけると出願率の増加が想定されます。

２．京カレッジの科目について

（１）京カレッジ科目の呼称

京カレッジにおいては、次のような呼称があります。

|  |  |
| --- | --- |
| 区　分 | 内　容 |
| 大学講義 | 大学の正課授業として行われる講義 |
| 市民教養講座 | 広く一般市民に向けて行われる公開講座 |
| プラザ・オンライン科目 | 下記いずれかに該当する科目または講座。所定の補助金の対象です。・主にキャンパスプラザ京都における対面形式のみで運営する科目・キャンパスプラザ京都における対面形式と特定の会場を使用しないオンライン形式を組み合わせて運営する科目・特定の会場を使用しないオンライン形式のみで運営する科目 |
| オンキャンパス科目 | 科目を開設する各大学・短期大学で開講する科目または講座 |

（２）京カレッジのテーマ区分

京カレッジのテーマ区分は次のとおりです。シラバスの入力の際には、科目の内容に応じて、該当するテーマ区分を選択してください。

なお、市民教養講座の「Ｋ　京都力養成コース」「Ｌ　教養力養成コース」は公募にて募集し、採択を受けた講座のみ開講できます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | テーマ区部 | 内　容 |
| 大学講義 | A　京（みやこ）を学ぶ | 京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群 |
| B　歴史を学ぶ | 日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史感を養う科目群 |
| C　文化・芸術を学ぶ | 文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群 |
| D　ことば・言語を学ぶ | 語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現を身に付ける学ぶ科目群 |
| E　教育・人生観を学ぶ | 心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群 |
| F　生活・健康・スポーツを学ぶ | 暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群 |
| G　自然・環境を学ぶ | 環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群 |
| H　現代社会を学ぶ | 法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群 |
| I　国際関係を学ぶ | 法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群 |
| 市民教養講座 | Ｊ　市民教養講座 | 大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム |
| Ｋ　市民教養講座　京都力養成コース | 歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム |
| Ｌ　市民教養講座　教養力養成コース | 京カレッジ独自に提供される文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたプログラム |

　　　※大学講義（Ａ～Ｉ）のテーマ区分は、単位互換のテーマ区分と同一のものです。

（３）京カレッジの受講形態

京カレッジには以下の受講形態があります。市民教養講座の受講形態は必然的に「特別受講生」となりますが、大学講義の場合は「科目等履修生」か「聴講生」、またその両方で受け入れるのか、受講形態が分かるようシラバス入力時に選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 科目等履修生 | 大学の講義（テーマ区分Ａ～Ｉ）を受講し、単位取得を目的とする受講生 |
| 聴講生 | 大学の講義（テーマ区分Ａ～Ｉ）を受講するが、単位取得を目的としない受講生 |
| 特別受講生 | 市民教養講座（テーマ区分がＪ・Ｋ・Ｌ）の受講生 |

（４）その他の留意事項

　　提供科目は、前期・後期科目とも、年度開始前のシラバス入力をもって確定となります。

３．京カレッジにかかる経費について

（１）選考料・授業料等

科目等履修生及び聴講生の選考料・授業料等については、科目開設大学が設定し、募集ガイド（シラバス等）に必ず明記してください。選考料等を徴収する場合、納入方法等は科目開設大学から出願者へ文書等で通知するなどして、受講生に直接通知してください。

特別受講生については、選考料を可能な限り無料にしてください。

なお、選考料、授業料等の納入後に受講生から返金を求められた場合の対応については、科目開設大学にてご判断ください。

（２）講師料（謝金）・交通費

科目開設大学でご負担ください。

※　市民教養講座の「京都力養成コース」「教養力養成コース」に採択された講座については、財団が支給する補助金を充当することができます。

（３）会場費

「オンキャンパス科目」については科目開設大学でご負担ください。

「プラザ・オンライン科目」については、キャンパスプラザ京都使用料（教室、備品等）を財団で負担します。ただし、次の場合は科目開設大学に費用をご負担いただきます。

①授業時間帯以外での準備や後片付け、あるいは控室等を目的とした使用

②キャンパスプラザ京都以外で実習等を行う場合の施設利用

③その他、授業に関する使用であると財団において判断できない場合

（４）広報

出願募集に関する京カレッジ生募集ガイドやポスター、リーフレット等の広報物は財団が費用を負担し、作成します。

完成後、必要部数を確認の上、各大学へ郵送しますので、募集ガイドや広報物の配布・掲示等ご協力をお願いします。

４．出願・履修手続きについて

（１）出願資格

京カレッジの出願資格は、原則次のとおりとします。

|  |  |
| --- | --- |
| 科目等履修生（大学講義） | 大学の入学資格を有する者（高等学校卒業またはそれと同等と判断したもの）。その他、出願資格については募集ガイド「各大学・短期大学手続き一覧」に記載してください。 |
| 聴講生（大学講義） | 特に出願資格を設けませんが、出願資格が必要な場合は募集ガイド「各大学・短期大学手続き一覧」に記載してください。 |
| 特別受講生（市民教養講座） | 特に出願資格は設けません。 |

（２）出願から選考まで

出願者は、所定の「出願票(※)」及び募集ガイドで科目開設大学が指示をする提出必要書類を出願期間内に財団へ提出します。財団では、出願票の記載内容をｅ京都ラーニング上にアップロードします。※2021年度から、出願票内容の提出はWEBシステムからでもできるようになります。

出願のあった大学の担当窓口へは出願票及び提出必要書類を郵送し、併せて出願者情報のエクセルデータをメールにて送信いたしますので、それをもとに履修可否の選考を行い、ｅ京都ラーニングに反映させてください。

（３）出願処理スケジュール

京カレッジの出願処理スケジュールは次のとおりです。各大学共通の作業日程となりますので、処理の期限日時は厳守願います。

|  |  |
| --- | --- |
| 作　業　概　要 | 締切日（必着） |
| 前期前期 | 【財団】京カレッジ募集ガイド等で出願受付科目公表 | 3/5（金） |
| 【財団】出願受付 | WEB出願、郵送、持参いずれも3/18（木）必着 |
| 【財団】ｅ京都ラーニングに出願者のデータをアップロード。科目開設大学に出願票、出願書類を発送、出願者データをメール送信 | 3/27（土） |
| 【科目開設大学】出願選考の上、選考結果及び手続き案内書類等を出願者に送付 | 4月上旬～4月中旬 |
| 【科目開設大学】履修可否及び成績番号をe京都ラーニングへ入力 | 4/15（木）17：00まで |
| 【科目開設大学】履修手続状況を財団に報告 | 5月中旬 |
| 【財団】履修手続報告書に基づき、財団から「京カレッジ会員証」を送付 | 6月上旬 発送仮会員証は6/30まで有効 |
| 後期 | 【財団】HP及び簡易冊子にて出願受付科目発表 | 7/17（土） |
| 【財団】出願受付 | WEB出願、郵送、持参いずれも8/24（火）必着 |
| 【財団】ｅ京都ラーニングに出願者のデータをアップロード。科目開設大学に出願票、出願書類を発送、出願者データをメール送信 | 8/31（火） |
| 【科目開設大学】出願選考の上、選考結果及び手続き案内書類等を出願者に送付 | 9月上旬～中旬 |
| 【科目開設大学】履修可否及び成績番号をe京都ラーニングへ入力 | 9/23（木）17：00まで |
| 【科目開設大学】履修手続状況を財団に報告 | 10月中旬まで |
| 履修手続完了者に対し、財団より「京カレッジ会員証」を送付 | 10月中旬発送仮会員証は11/30まで有効 |

（４）受け入れに関する注意事項

　　　①仮会員証の発行について

　　　　出願者へは、科目開設大学から履修手続き完了報告を受けたうえで「京カレッジ会員証」を発行（前期6月、後期10月）しています。そのため、それまでに開講される科目については、仮会員証にて講義を受講できるようご配慮をお願いします。

　②出願者数・履修許可者数について

　　　　京カレッジの出願者数は、財団へ出願票を提出された方を出願者とみなし、「出願者数」としてカウントしています。また、科目開設大学が履修を許可した出願者を「履修許可者数」としてカウントします。

　　　　以上の理由から、履修許可されたにもかかわらず最終的に科目開設大学における手続きを行わなかった出願者についても、e京都ラーニング内では履修許可状態のまま変更しないでください。必要に応じて、学内の運用において「辞退」・「未手続」などとして取り扱ってください。

５．試験・レポートについて

（１）試験・レポート情報の集約と告知について

定期試験及びレポート試験の実施の有無や、実施日程、レポート論題等の情報については、前期科目、夏期集中科目は6月中旬頃、後期科目は11月下旬頃に財団から科目開設大学に集約を依頼します。ここで集約した情報は、プラザ科目の学年暦における試験期間2週間前から、キャンパスプラザ京都１階の掲示板及び財団ホームページまたはe京都ラーニングに掲載します。

なお、京カレッジの科目等履修生に対して試験に関する実施要項等のお知らせがあれば、財団　 ホームページまたはe京都ラーニングに掲載しますので、データ等でご提供ください。

（２）プラザ科目の試験・レポートについて

「プラザ科目」における試験・レポートの実施については「Ⅳ　キャンパスプラザ京都で実施るす科目について」の章（P.19～）でご確認ください。

（３）オンキャンパス科目の試験・レポートについて

「オンキャンパス科目」の試験及びレポート試験実施における各種注意事項、手続きなどについては、科目開設大学の規程を適用もしくは準用してください。

６．成績評価について

（１）成績評価・単位認定

①評価・単位認定方法

科目開設大学は、「科目等履修生」の単位認定及び成績管理を行います。各大学の基準で成績評価（「A・B・C」、「優・良・可」など）を行い、各大学所定の様式で受講生一人につき１枚の「成績報告書」（または「単位修得報告書」）等を京カレッジ生へ直接ご送付ください。

　　　　なお、聴講生や特別受講生は評価の対象外です。

②成績通知の対象

成績通知の対象者は、京カレッジの大学講義に「科目等履修生」として出願し、科目開設大学が「履修許可者」と認めた京カレッジ生です。履修許可後の辞退者、科目開設大学での別途履修手続未了者、受講放棄者等についても成績通知の対象となります。該当する京カレッジ生へ成績通知書の郵送をお願いします。

　７．補助金制度について

京カレッジでは、市民教養講座に設ける「京都力養成コース」「教養力養成コース」への講座提供に対し、「市民教養講座開設補助費」を支給しています。

詳細については、『「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド』をご参照ください。

８．受講アンケートの実施について

京カレッジ受講生全員に対して、今後のあり方ならびに次年度以降の講義改善を目的としたアンケートを年度末に郵送にて実施します。

なお、アンケートの集計結果等については別途ご報告します。

**Ⅲ　単位互換・京カレッジに共通する事項**

１．シラバスの入力について

単位互換・京カレッジに提供する科目・公開講座は、総合教務システム「e京都ラーニング」に科目の概要（シラバス）をデータ入力してください。

シラバスの入力期間、方法、留意事項等につきましては、「2021年度シラバスの入力依頼および「e京都ラーニング」マニュアルについて」を参照ください。

２．連絡方法について

 　単位互換・京カレッジに関する連絡は、以下のいずれかによって行います。何らかの変更が生じた場合は、必ず担当者同士が連絡を取り合うようにご留意ください。

（１）財団・各加盟校担当者間の連絡方法について

単位互換・京カレッジにおける各種事務連絡を円滑に行うため、各大学の担当者ならびに財団の担当者を登録したメーリングリスト（ML）を作成しています。メーリングリスト（単位互換事業・京カレッジ共通）は2種類ありますので、用件に応じてご活用ください。

①t-go@consortium.or.jp…各加盟校・財団の担当者すべてを登録したML

（財団から各加盟校への一斉連絡に用います）

②tg@consortium.or.jp…財団担当者すべてを登録したML

 　　　（各加盟校から財団担当者へは、当該アドレスまでご連絡ください。）

①のt-go@consortium.or.jpの登録者を担当者間で共有するため、メーリングリスト一覧（Excelファイル）を年度初めに作成いたします。担当者に変更があれば随時財団担当者（②のtg@consortium.or.jp宛）にご連絡ください。

なお、財団からのメール配信は②のtg@consortium.or.jpアドレスを用いて発信します。

（２）単位互換履修生・京カレッジ生への連絡方法について

単位互換履修生・京カレッジ生への連絡は基本的に「e京都ラーニングシステム」の「お知らせ機能」への投稿により行います。登録された情報は、自動的に履修学生へメールで通知されます。

|  |
| --- |
| なお、京カレッジ生は出願時にメールアドレスを登録している場合としていない場合があるため、ｅ京都ラーニングの登録だけでは情報が行き届きません。個別の電話連絡等も含めて、すべての受講者に情報が確実に行き渡るようご対応にご協力ください（連絡の不達はクレームとして寄せられています）。 |

ｅ京都ラーニング[の教務用マニュアル](https://el.consortium.or.jp/login.php%EF%BC%89%E3%81%AE%E6%93%8D%E4%BD%9C%E6%96%B9%E6%B3%95%E3%81%AF%E6%95%99%E5%8B%99%E7%94%A8%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB)については別途ご連絡します。

（３）単位互換履修生・京カレッジ生からの問い合わせ対応

　　　単位互換や京カレッジに関する制度については財団が回答しますが、履修方法や講義内容等の詳細については、学生所属大学または科目開設大学にご回答を依頼することがありますので、ご協力のほどお願いします。

なお、シラバスに掲載する「連絡先」には、単位互換履修生・京カレッジ受講生からの問い合わせに対応する部署をご記入ください。

また、手続き方法等その他必要な事項がありましたら、財団ホームページにも掲載しますので、適宜情報をご提供いただくなど、受講生が履修しやすいようご配慮ください。

（４）単位互換・京カレッジ担当者連絡会議の開催

　　　単位互換事業・京カレッジ事業の推進にあたり、各大学への事務連絡や意見交換を行う「事務担当者会議」を例年、年２回（7月中旬と11月中旬）開催しています。

　　　この会議では、当該年度のスケジュール確認や次年度の基本方針、事務手続き等を説明し、意見を伺う貴重な機会となっていますので、ご出席のほどお願いします。

（５）会議資料・各種マニュアル等の格納場所「加盟校教職員用ファイル管理ページ」

事務担当者会議で配付した資料や、提出をお願いする様式、各種マニュアル等については、常時参照できるようオンライン上に格納しています。必要に応じてID・パスワードでログインのうえご利用ください。

「加盟校教職員用ファイル管理ページ」<http://www.consortium.or.jp/kyosyoku/>

（大学コンソーシアム京都ウェブサイト→最下部右下からアクセスできます）

・ID：cons-002

・パスワード：consotgmc

３．授業の運営について

オンキャンパス科目の授業や試験・レポート、休講や補講の実施等については、科目開設大学の基準に応じてください。台風の接近等による休講措置についても、科目開設大学の基準でご判断ください。キャンパスプラザ京都で実施する科目については次章「Ⅳ　キャンパスプラザ京都で実施する科目について」（P.19～）で確認してください。

４．個人情報の取り扱いについて

大学間または財団と大学との間で個人情報を含むデータ（Excel、Wordなどのファイル等）を送付する際は、個人情報保護の観点から、読み取りパスワードを設定してください。

なお、パスワードは、毎年度「第1回単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議」でお伝えする共通パスワードを、次年度の同会議までの期間ご使用ください。

５．その他の留意事項

キャンパスプラザの一斉停電は2021年2月8日(月)です。この日はe京都ラーニング・ホームページの閲覧など財団の全てのシステム利用ができませんのでご注意ください。

**Ⅳ　キャンパスプラザ京都で実施する科目について**

１．学年暦について



２．講義時間について

　　プラザ科目の開講時間（前期・後期・集中・試験共通）は次のとおりです。入退室の時間は使用時間を前後に10分となっています。なお、キャンパスプラザ京都は貸施設のため、使用時間は厳守願います（授業の延長等はできません）。

|  |  |
| --- | --- |
| 講時 | 時　　間 |
| **１** | **９：００　～　１０：３０** |
| **２** | **１０：５０　～　１２：２０** |
| **３** | **１２：４０　～　１４：１０** |
| **４** | **１４：３０　～　１６：００** |
| **５** | **１６：２０　～　１７：５０** |
| **６** | **１８：１０　～　１９：４０** |
| **７** | **２０：００　～　２１：３０** |

３．教室調整について

プラザ科目で使用する教室は、シラバス入力の基本情報（開講曜講時や受講定員等）をもとに配当しますが、教室状況も限られているため、同一の曜日や時間に科目が集中した場合は、大学担当窓口と相談の上、教室調整を行います。

　　なお、キャンパスプラザ京都の施設概要及び付属設備は下表のとおりです。使用を希望される設備がありましたら事前にご連絡ください。

＜施設概要・付属設備一覧＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（2020年2月～）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教 室 名 | 収　容　定　員 | 教 室 内 附 属 機 器 |
| 第１講義室（5Ｆ） | 講義定員：２８９名試験定員：１７０名【席固定式】 | 150ｲﾝﾁ ﾘｱ式液晶ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ　2台ﾌﾞﾙｰﾚｲﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ）（DVD/LD/CD）OHC　　PC接続 OHP用電動ｽｸﾘｰﾝﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ　最大7波 |
| 第２講義室（4Ｆ） | 講義定員：２８９名試験定員：１７０名【席固定式】 | 150ｲﾝﾁ ﾘｱ式液晶ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ　2台　ﾌﾞﾙｰﾚｲﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ）（DVD/LD/CD）OHC　PC接続　OHP用電動ｽｸﾘｰﾝﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ　最大8波 |
| 第３講義室（4Ｆ） | 講義定員：１７０名試験定員：１００名【席固定式】 | 150ｲﾝﾁ ﾘｱ式液晶ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ　2台ﾌﾞﾙｰﾚｲﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ）（DVD/LD/CD）OHC　PC接続　OHP用電動ｽｸﾘｰﾝﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ　4波 |
| 第４講義室（4Ｆ） | 講義定員：９０名試験定員：６０名【席可動式】 | 120ｲﾝﾁ ﾘｱ式液晶ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ　1台ﾌﾞﾙｰﾚｲﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ）（DVD/LD/CD）OHC　PC接続　OHP用電動ｽｸﾘｰﾝﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ　4波 |
| 第１演習室（５Ｆ） | 講義定員：３０名試験定員：２０名【席可動式】 | ﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ（可動式）ｽｸﾘｰﾝ（可動式）ﾋﾞﾃﾞｵ一体型DVDﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ） |
| 第２演習室第３演習室第４演習室（５Ｆ） | [1室使用の場合]講義定員：３０名試験定員：２０名【席可動式】[2室を結合して使用]講義定員：６０名試験定員：４０名【席可動式】[3室を結合して使用]講義定員：９０名試験定員：６０名【席可動式】 | ﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ（可動式）ｽｸﾘｰﾝ（可動式）ﾋﾞﾃﾞｵ一体型DVDﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ）ｽﾋﾟｰｶｰ付きﾏｲｸｾｯﾄ（ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ2波） |
| 第５演習室（５Ｆ） | 講義定員：３０名試験定員：２０名【席可動式】 | ﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ（可動式）ｽｸﾘｰﾝ（可動式）ﾋﾞﾃﾞｵ一体型DVDﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ） |
| **第５講習室****（６階）** | 講義定員：３６名試験定員：２０名【席可動式】 | ﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ（可動式）ｽｸﾘｰﾝ（可動式）ﾋﾞﾃﾞｵ一体型DVDﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ） |
| ホール（２Ｆ） | 講義定員：９０名【席可動式】 | ﾋﾞﾃﾞｵﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ（可動式）120ｲﾝﾁ降下式ｽｸﾘｰﾝﾌﾞﾙｰﾚｲﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ）（DVD/LD/CD）PC接続ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ4波 |
| 第２会議室第３会議室（２Ｆ） | 講義定員：各３８名【席可動式】 | 80ｲﾝﾁﾊｲﾋﾞｼﾞｮﾝﾌﾟﾗｽﾞﾏﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲﾌﾞﾙｰﾚｲﾌﾟﾚｰﾔｰ（再生のみ）（DVD/LD/CD）PC接続ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ4波 |

※別途貸出：カセットデッキ（再生・録音）、ビデオデッキ、OHC

４．出講案内について

　　キャンパスプラザ京都への教員の出講については、別紙「出講案内」をご覧ください。

　５．授業の運営について

　　授業の運営（資料の配布や教室レイアウトの変更）等で授業時にサポートが必要な場合は、科目開設大学からスタッフ（事務職員、ＴＡ等）を派遣してください。

　　また、レジュメや試験用紙等の印刷物は各大学で事前に準備の上、ご持参または郵送にてお送りください。なお、郵送いただく場合は事前連絡をお願いします。

６．定期試験について

（１）定期試験期間の設定について

プラザ科目の前期・後期開講科目で定期試験を実施される場合は、プラザ科目学年暦の各試験期間中において、原則、講義と同曜日・同講時に実施してください。

また、集中講義期間（8/6～9/20）中に開講する科目の試験は、原則として、講義最終日に実施してください。

＜2021年度プラザ科目の試験期間＞

◆前　　期：2021年7月30日（金）～8月5日（木）

◆後　　期：2022年1月23日（日）～1月29日（土）

◆夏期集中：原則として講義最終日に実施

（２）試験の実施

①試験問題の印刷・保管

　　　　試験問題は、必ず科目開設大学で印刷していただき、試験実施1週間前までに財団へ持参するか、簡易書留またはレターパックプラス（520円）にてお届けください。試験当日まで財団で保管します。

②試験監督・補助監督の配置

　　　　試験監督は、科目担当教員が代表者として務めてください。また、補助監督が必要な場合は、科目開設大学にて派遣していただき、不正が起こらない環境を整えてください。

なお、財団のスタッフが補助監督を務めることはできませんのでご了承ください。

　＜不正行為が発生した場合＞

万が一、プラザ科目の定期試験において、不正行為が発覚した場合は、その証拠（カンニングペーパー等）を押さえた上で、自大学生及び京カレッジ生の場合は、科目開設大学の基準に準じて対処してください。単位互換履修生の場合は、財団事務局に知らせてください。財団から所属する大学に状況を連絡しますので、処分は学生所属大学の基準に準じて対処してください。

③試験問題・解答用紙の送付

試験用紙及び解答用紙は、担当教員が持ち帰るか、財団から郵送（レターパックプラス）

しますのでいずれかをお知らせください。

７．レポート試験について

　（１）レポートの提出方法について

授業時に回収するか、郵送の場合は送付先（郵便番号・住所・宛名）を学生へご周知ください。レポートの表紙（所定の青紙）はキャンパスプラザ１階で配布しています。

なお、財団を提出先とする場合は、以下を条件として回収に協力します。

①レポート受付期間

|  |  |
| --- | --- |
| 前期 | 2021年　7月30日（金）～8月5日（木） |
| 集中講義 | 2021年　8月 6日（金）～9月19日（日） ※うち最長6日間 |
| 後期 | 2022年　1月23日（日）～1月29日（土） |

※本財団職員の出勤体制上、締切最終日の設定はなるべく日曜日を外していただきますよう

お願いします。

②キャンパスプラザ京都へのレポート提出方法

提出方法は以下の2種類からいずれか1つを科目担当教員が選択してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 提出方法 | 手続き | 提出場所 | レポート締切 |
| 財団宛 | レターパックライト（370円)にて送付 | 日本国内郵便局 | 最終締切日16：30まで※時間は追跡します。 |
| レポート回収BOX | 該当科目のレポート回収BOXに投函 | キャンパスプラザ京都1階受付前 | 9：00～16：30（月曜日は休館日） |

※いずれも所定のレポート表紙を添付してください。

【郵便局留の場合の記入例】



**科目名を記入**

**財団の住所等を記入**

**財団の郵便番号を記入**

**差出人の住所・氏名**

**電話番号を記入**

③レポートの送付

財団が受領したレポートは、表紙に受領印を押印し、科目開設大学から提供を受けた受講生リスト（所属大学別、５０音順）をもとに提出状況を確認してご返送します。レポートの返送については、提出期間終了後にキャンパスプラザ京都まで回収にお越しいただくか、郵送（レターパックプラス）いずれかご希望の方法を財団までお知らせください。

８．キャンパスプラザ京都で実施する授業・試験・講座の休講・補講の取り扱いについて

（１）休講等に関する注意点

キャンパスプラザ京都で実施する授業・試験・講座は、財団の定める共通の学年暦や休講基準に基づいた運営を行うため、休講措置に関し、以下の点にご協力をお願いします。

①学校行事による休講

科目開設大学の創立記念日や学園祭などの理由から学校行事による休講は、プラザ科目には適用されません。休講される場合は、財団へのご連絡と、ｅ京都ラーニングの「お知らせ機能」を通じて休講情報を受講生に周知してください。

②連絡体制の整備

科目開設大学の休業日（土日祝等）に開講されるプラザ科目で、事前連絡なしに担当教員が出講されないケースの対応に苦慮しております。このようなケースに財団がスムーズに対応できるようにするため、休業日のプラザ科目を担当する教員の緊急連絡先（ご自宅もしくは携帯電話番号）を必要に応じてご提供していただきます。教員の緊急連絡先が必要な場合の照会依頼については、財団より行いますのでその際はご協力ください。

なお、ご提供いただいた情報については、休業日における緊急連絡が必要な場合のみに利用することとします。

③休講基準（特別措置）

担当教員が当該講義開始時間から30分を経過しても出講しない場合、特別措置として休講とします。この場合、財団から科目開設大学の事務担当者に特別措置を実施した旨を報告しますので、補講等の必要な追加措置をお願いします。また、開始時間になっても出席者がなかった場合は、30分程度の経過を目安に担当教員の判断により休講としてください。

（２）振替日の決定に関する注意点

振替日は、教室確保の都合上、候補日を財団と調整の上で確定してください。定期試験に関しては、2017年度より試験予備日を前期・後期に各1日設けています。極力試験予備日に試験日を再設定してください。

確定後は、ｅ京都ラーニングの「お知らせ機能」で受講生に通知してください。

なお、補講希望日がある場合は下記ウェブサイトにてキャンパスプラザ京都の空き状況をご確認のうえご相談ください。

【キャンパスプラザ京都（貸会場・施設利用案内）：空き状況確認】

http://reserve.consortium.or.jp/reserve/rsvwebsys/index.html

（３）「プラザ科目」および「大学リレー講座」における授業・試験休止の取扱基準について

キャンパスプラザ京都で開講される「プラザ科目」および「大学リレー講座」では、暴風警報や特別警報、特別警報に位置づける警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止等が発生した場合、および、上記に関わらず、授業・試験・講座の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合、授業・試験を休止する基準を以下のとおり定めています。

なお、大学・短期大学のキャンパスで開講される「オンキャンパス科目」については、各大学・短期大学の指示に従ってください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準について

１．授業・試験の休止基準

１）授業・試験当日において次の⑴、⑵、⑶いずれかに該当する場合、下記【判断基準および対応】で示した基準に沿って、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

　⑴　警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

　⑵　交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち２つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）

②ＪＲ（京都駅発着の在来線）

③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）

④阪急電車（河原町～梅田間）

⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

　⑶　その他

上記の基準に関わらず授業・試験の実施について大学コンソーシアム京都・教育事業部長が困難であると判断した場合

【判断基準および対応】

○７：00以降、10：30までに警報発令または運行休止等が発生している場合：1、2講時の授業・試験を休止

○10：30以降、14：00までに警報発令または運行休止等が発生している場合：2・3・4講時の授業・試験を休止

○14：00以降、警報発令または運行休止等が発生している場合：5講時以降の授業・試験を休止

　＊なお、授業または試験実施中に発令または運行休止等が発生した場合は、原則として実施中の授業・試験については休止しないものとします。

２）授業の前日、または前々日において、授業・試験の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、授業・試験をあらかじめ休止します。

２．授業休止または試験延期後の措置

授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学との調整の上、ｅ京都ラーニングや大学コンソーシアム京都ウェブサイト(http://www.consortium.or.jp/)内「重要なお知らせ」にてお知らせします。

〈参考〉 特別警報に位置づける警報

 ・津　波：大津波警報

 ・火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル４以上）及び噴火警報（居住地域）

 ・地　震：緊急地震速報（震度６弱以上）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

　キャンパスプラザ京都で開講される大学コンソーシアム京都主催 京カレッジ「京都学講座」および「大学リレー講座」における講座休止の取扱基準

１．講座の休止基準

１）講座当日において次の⑴、⑵、⑶いずれかに該当する場合、下記【判断基準および対応】で示した基準に沿って、講座を休止します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

　⑴　警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

　⑵　交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち２つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）

②ＪＲ（京都駅発着の在来線）

③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）

④阪急電車（河原町～梅田間）

⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

　⑶　その他

上記の基準に関わらず講座の実施について大学コンソーシアム京都・教育事業部長が困難であると判断した場合

【判断基準および対応】

○７：00以降、午前講座(※1)開始時刻までに警報発令または運行休止等が発生している場合：午前講座を休止

○10：30以降、警報発令または運行休止等が発生している場合：午後講座(※2)を休止

＊なお、講座実施中に警報発令または運行休止等が発生した場合は、原則として実施中の講座については休止しないものとします。

※1「午前講座」：開始時刻が午前である講座

※2「午後講座」：開始時刻が午後である講座

２）講座の前日あるいは前々日において、講座の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、講座をあらかじめ休止します。

※　なお、「京都学講座」の休止を教育事業部長が判断する場合は、原則、事前に京都学企画検討委員長と休止方針を確認していることとする。

２．講座休止時の告知

大学コンソーシアム京都ウェブサイト(http://www.consortium.or.jp/)内「重要なお知らせ」にてお知らせします。

３．講座休止後の措置

講座休止による振替日設定の有無等については、後日調整の上、大学コンソーシアム京都ウェブサイトやキャンパスプラザ京都1階掲示板等でお知らせします。

〈参考〉 特別警報に位置づける警報

 ・津　波：大津波警報

 ・火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル４以上）及び噴火警報（居住地域）

 ・地　震：緊急地震速報（震度６弱以上）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（４）台風接近時等による休講に備えた対応について

上記取扱基準のとおり、授業・試験・講座の前日あるいは前々日において、実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、授業・試験・講座をあらかじめ休止します。

その場合は財団から科目開講大学へ連絡を行いますので、科目開講大学から受講者および科目担当教員へ周知をお願いします。

９．キャンパスプラザ京都での教科書販売について

　　キャンパスプラザ京都においては物品の販売が禁止されているため、教科書を販売することはできません。受講者が教科書を各自で購入できるよう、シラバス等に書名・著者・出版社・ISBNを示してください。なお、その際は、絶版・品切れがないかあらかじめご確認ください。

|  |
| --- |
| **（公財）大学コンソーシアム京都　　　　　　　　参考資料単位互換科目（京カレッジ）　受講・受験証明書** |
| 所 属 大 学 | 　 |
| 学籍番号(所属大学) | 　 |
| 単位互換（京カレッジ）履修生番号 | 　 |
| 氏　　　　　　　名 | 　 |
| 科 目 開 設 大 学 | 　 |
| 科 　目　 番　 号 | 　 |
| 科　　　目　　　名 | 　 |
| 受 講・受 験 の 別 | 受　講　　　・　　　受　験 |
| 受　　　講　　　日ま　た　は受　　　験　　　日 | 　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日　（　　　） |
| 　　　　　　講時（　　　　　時　　　　分　～　　　　時　　　分） |
| 備　　　　　　　考 | 　 |
|  |  |
|  | 上記のとおり証明します。 |
|  |  |
|  | 年　　　　月　　　　日　 |
|  |  |
|  | 大学･短期大学名 |
|  |  |
|  |  |
|  | 印 .　　 |
|  |  |



こ公益財団法人大学コンソーシアム京都　　　　作成：2020年11月

　〒600-8216　京都市下京区西洞院通塩小路下る　キャンパスプラザ京都

　TEL．075-353-9120（単位互換担当）　TEL．075-353-9140（京カレッジ担当）

　FAX．075-353-9121（共通）　E-MAIL：tg@consortium.or.jp（共通）

http:/www.consortium.or.jp/